働くシニア取材記事　令和３年度　第１号

シニアの働く

彩の国　埼玉県

株式会社リハビリホーム一歩　鈴木　光子さん（71）

○鈴木さんの仕事について教えてください。

革細工や籐細工、絵を描くなどの手を使ったアクティビティ全般を教えながら一緒にやっています。それから、ピアノを弾いて歌ってもらうことや体操の指導なども行っています。

○仕事を始めた経緯を教えてください。

前職は病院のリハビリテーション科で作業療法士助手をしていました。社長も同じ病院で勤務をしていましたので、社長に誘われて、こちらで働くことになりました。

○鈴木さんにとって仕事のやりがいは何ですか？

病院と違って、直接ご家族や利用者さんの声が聞けるのはうれしいです。私の言葉に「勇気づけられました」とご家族から言われ、埼玉県から表彰（コバトンハートフルメッセージ）を受けたことは励みになりました。自分の言葉が相手を元気づけるとは思っておらず、やりがいを感じました。

※コバトンハートフルメッセージとは
心のこもったサービスや模範となる取組を行った介護職員・介護事業所を選び表彰するものです。

○シニア世代になって働き方で変わったことがあれば教えてください。

60歳までは家族のために働いていると思うことが多かったですが、60歳を過ぎてからは、「利用者さんと一緒に楽しみたい」と思うようになりました。利用者さんにも楽しんで仕事をしていることが伝わっているのではないかと思います。

○同世代へのメッセージをお願いします。

まずやってみることが大切だと思います。自分が仕事をしたいと思ったら、とりあえず飛び込んでみてはどうでしょうか。私自身あまり考えずに飛び込むタイプなのですが、思ったよりスムーズに物事は進むということが分かりました。

私は社長から75歳くらいまで働いてみてはどうかといわれているので、体の調子を見ながら、75歳まで働きたいと思っています。

※掲載内容は取材時点のものです。
※撮影のため、一時的にマスクを外していただいています。

県では、「働くシニア応援プロジェクト」の一環として「働くシニア応援サイト」を運営しております。過去の取材記事やシニアの雇用に役立つ情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

働くシニア応援プロジェクト
埼玉県

-シニア活躍に関するイベント・情報が満載-

「働くシニア応援サイト」
はこちらから→

問合せ：埼玉県産業労働部人材活躍支援課
電　話　：048－830－4539

埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」